

中小企業信用保険法第2条第5項
第5号の規定による認定申請書（イ－②）

令和 年 月 日

南あわじ市長 様

申請者
住 所
氏 名 印

私は、表に記載する業を営んでいるが、下記のとおり、（注2）が生じているため、経営の安定に支障が生じておりますので、中小企業信用保険法第2条第5項第5号の規定に基づき認定されるようお願いします。

（表）

※表には営んでいる事業のうち指定業種に属するもの（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を全て記載。当該業種が複数ある場合には、その中で、最近1年間で最も売上高等が大きい事業が属する業種を左上の太枠に記載。

記

1 事業開始年月日 年 月 日
2 売上高等
 $\frac{B-A}{B} \times 100$ 指定業種の減少率 %
全体の減少率 %

最近3か月間における全体の売上高等に占める指定業種の売上高等の割合 %

A：申込時点における最近3か月間の売上高等（ 年 月 ～ 年 月）
指定業種の売上高等 円
全体の売上高等 円
B：Aの期間に対応する前年の3か月間の売上高等（ 年 月 ～ 年 月）
指定業種の売上高等 円
全体の売上高等 円

（注1）本様式は、主たる事業（最近1年間の売上高等が最も大きい事業）が属する業種（主たる業種）が指定業種である場合であって、主たる業種及び申請者全体の売上高等の双方が認定基準を満たす場合に使用する。

（注2）主たる事業が属する業種（日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名）を記載。

（注3）「販売数量の減少」又は「売上高の減少」等を入れる。

（留意事項） ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。

② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、経営安定関連保証の申込みを行うことが必要です。

認 定 書

南あ商観発第 号 令和 年 月 日
申請のとおり、相違ないことを認定します。
（注）本認定書の有効期間：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

認定者名 南あわじ市長 守本 憲弘 印

認定権者記載欄		

(認定申請書イー②の添付書類)

申請者名：

(表 1：事業が属する業種毎の最近 1 年間の売上高)

当社の指定業種は

業種 (※)	最近 1 年間の売上高	構成比
	円	%
	円	%
	円	%
	円	%
企業全体の売上高	円	100%

※：業種欄には、日本標準産業分類の細分類番号と細分類業種名を記載。

(表 2：最近 3 か月間における企業全体の売上高に占める指定業種の売上高の割合)

企業全体の最近 3 か月間の売上高【a】	円
指定業種の最近 3 か月間の売上高【b】	円
【b】 / 【a】 × 100	%

(表 3：最近 3 か月間の売上高)

指定業種の最近 3 か月間の売上高【A】	円
企業全体の最近 3 か月間の売上高【A'】	円

(表 4：最近 3 か月間の前年同期の売上高)

指定業種の最近 3 か月間の前年同期の売上高【B】	円
企業全体の最近 3 か月間の前年同期の売上高【B'】	円

(1) 最近 3 か月間の指定業種の売上高の減少率

$$\frac{【B】 \text{ 円} - 【A】 \text{ 円}}{【B】 \text{ 円}} \times 100 = \text{ \%}$$

(2) 最近 3 か月間の企業全体の売上高の減少率

$$\frac{【B'】 \text{ 円} - 【A'】 \text{ 円}}{【B'】 \text{ 円}} \times 100 = \text{ \%}$$

(注) 認定申請にあたっては、指定業種に属する事業を営んでいることが疎明できる書類等(例えば、取り扱っている製品・サービス等を疎明できる書類、許認可証など)や、上記の売上高が分かる書類等(例えば、試算表や売上台帳など)の提出が必要。